札幌市議会 市政報告 vol.2 2012.3

林せいじ 市政だより

市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主党・市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
http://hayashi.main.jp/ hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

2012年も市民が主役の街づくりへ邁進します。

2月14日から札幌市議会も第1回定例会が開催されています。今議会では2012年度予算の審議が主な内容となりますが、他にも様々な重要な案件も提出されています。

その中でも特に公契約条例が議案として提出されています。公契約条例とは札幌市が発注する工事や役務に従事する労働者賃金の最低額を条例で定めるものです。私も市議会議員となる前から労働組合役員として関わっており、早期制定を目指してきた者として、微力ではありますが成立に向けて努力していきます。新年度予算案にも第3次札幌新まちづくり計画に基づく重要な項目が多くあり、真摯な討論によりより良い札幌の街づくりをしていく必要があります。今回の市政だよりにより市民の皆様にもご理解いただきたく一部ではありますが、掲載します。

札幌市議会議員

林 せいじ

予算規模

（単位；億円、%）

会計	24年度予算額	23年度予算額	比較増減	増減率
一般会計	8,522	8,659 〈8,496〉	▲137 〈26〉	1.6 〈0.3〉
特別会計	3,410	3,237	173	5.3
企業会計	2,496	2,500	▲4	▲0.2
総計	14,428	14,396 〈14,233〉	32 〈195〉	0.2 〈1.4〉

〈〉内は、経済貸付（預託金）の減分を、23年度予算から控除した場合です

2012年 第1回 定例札幌市議会

新年度予算（案）の主な事業内容

2月14日から始まった札幌市議会 第一回定例会。
札幌市の2012年度予算案を中心に審議されます。

○ミニ児童会館の整備

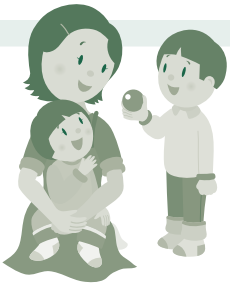
放課後の子どもの居場所として余裕教室を活用したミニ児童会館を整備します（北区では2館予定しています）。

余裕教室が確保できない小学校は「放課後子ども館」を整備します（北区では2校予定しています）。

○放課後児童クラブの充実

対象学年を5年生まで拡大し、時間を19時まで延長します。また、時間延長利用料として2千円を予定し減免制度も整備します。

○保育所整備 定員拡大



待機児童解消対策として私立保育園の新築増改築を補助し、定員 1,000 名を拡大します。

○認可外保育施設運営支援

今まで補助金などの制度がなかった認可外保育施設へ一定程度の基準を満たす場合、補助を実施します。

○社会的自立支援事業

生活保護受給者に就業体験的な場を提供する「就労ボランティア体験事業」と生保世帯の子どもの基礎学力向上支援として「子どもの学習支援事業」を実施します。

○広域型特別養護老人ホーム新築補助費

在宅での生活が困難な高齢者が安心して生活できるよう4施設の新築補助を実施します（北区では1施設予定しています）。

○障がい児（者）医療・福祉複合施設整備事業

豊平区平岸の静療院跡地に「（仮称）子ども心身医療センター」や通園・通所施設を統合した、医療と福祉の一体施設を整備します。

○中小企業金融対策資金貸付

中小企業の経営基盤の強化と振興に資するため「札幌みらい資金」の利率引き下げと、産業振興資金に短期サポート特別枠を新設します。

○北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区関連

北海道を東アジアにおける食の研究開発・輸出拠点とするため食関連研究を進めるとともに、「食・健康」分野の事業化・実用化に向けた研究開発を推進します。

○札幌コンテンツ特区関連

札幌に映画やＣＭなどのロケを誘致するとともに観光などの多様な産業に波及させていく「札幌コンテンツ特区」の推進を図るため、ロケ等の許認可に関するワンストップ窓口の運営や人材育成を実施します。

公契約条例

第1回定例会には、新年度予算のほかにも重要な議案が提出されています。その中でも公契約条例は成立が求められる議案です。

この条例は札幌市が発注する工事や業務委託、公共施設の指定管理者などの事業所で働く労働者の賃金を条例で定めるものです。

現在、市の発注する業務などは入札で事業所を決定していますが、低価格競争が激化する中で、労働者賃金が低くなっていることが多くなっています。そこで入札制度改善と合わせて、最低賃金を定めることで従事者の適正な労働環境を確保することを目指しています。

官制ワーキングプア解消に向けて効果が見込まれる条例です。札幌市においても年収の低い階層が増えており、若い世代の方々が、家庭を持ち子どもを産み育てることができる環境を整備することが求められています。是非とも市民の皆様もご理解いただきたいと思います。

対象契約

① 予定価格5億円以上の工事
（プラント工事は2億円以上）

② 予定価格1千万円以上の業務委託のうち規則で定めるもの
（庁舎清掃・庁舎等警備・設備運転監視）

③ 公の施設の管理に関する協定

行財政改革プラン

札幌市は、市民自治をより確かなものにするための行政運営の実現と、持続可能な財政構造の確立をめざし、札幌市行財政改革プランを策定しました。

プランには平成24年度から平成26年度に見込まれる財源不足を解消するとともに、第3次札幌新まちづくり計画に位置付けられた事業の実施に必要な新たな財源を確保する具体的な取り組みを盛り込んでいます。

取組の主な柱

財政運営の改革
- ○行政運営の改革
- ○歳出構造の改革
- ○市民力を活かす市役所

財政基盤の強化
- ○組織の改革
- ○財政運営手法
- ○しごとの改革

具体的な取り組みとして、効率的な市政運営、職員の効率化、財産などの有効活用として遊休地の売却、受益者負担の見直しなどが検討されています。

特に議会でも討論となるのは受益者負担となります。新聞報道などでも話題になりましたが、児童クラブの有料化、保育料の引き上げなどがあります。児童クラブ有料化は保護者からの要望も強い午後7時までの時間延長や対象の拡大、新規開設などを計画しております。保育園に関しても待機児童解消に向けて1,000名の定員拡大を検討します。

札幌市は他の政令指定都市と比較して大きく市民負担軽減を実施しており、今回の引き上げを実施しても他都市に比較しては低くなっています。市債残高は減少しておりますが、いまだ1兆7千億円の残高であり、将来の札幌を担う若い世代に借金を残して子育て支援を実施することはできません。議会討論で市民に理解を求めたいと思います。

その他多くの事業計画、条例制定が予定されています。
詳細は札幌市ホームページなどでご確認ください。

http://www.city.sapporo.jp/ 札幌市 検索

林せいじ活動報告

北区の除雪体制

２０１１年度予算において札幌市は除雪費として１５０億円を計上していましたが、平年を上回る大雪への対応として、第１回定例会に１４億円の補正予算を提案することとなりました。

北区においては昨年の降雪量を１月末に超えており、積雪の深さも昨年を超えている状況にあります。昨年は集中的に降雪があり、市民の皆様には除雪が遅れ迷惑をかけましたが、今年はまとまって降った後に数日好天があり、除雪はこまめにできている状況となっています。

たくさんの除雪車が活動しています

しかし、連日気温が低く雪が解けない状況が継続しているなどの状況により、パートナーシップによる生活道路排雪の前倒し実施などの対応をしています。また除雪に関わる業者の減少や排雪に使用するダンプ・トラックの減少により排雪量の抑制を昨年同様に進めています。除雪に関しては毎年苦情などが多い状況になっていますが、市民理解をさらに進める取り組みも必要であります。

同僚議員と除雪体制の視察を行いました

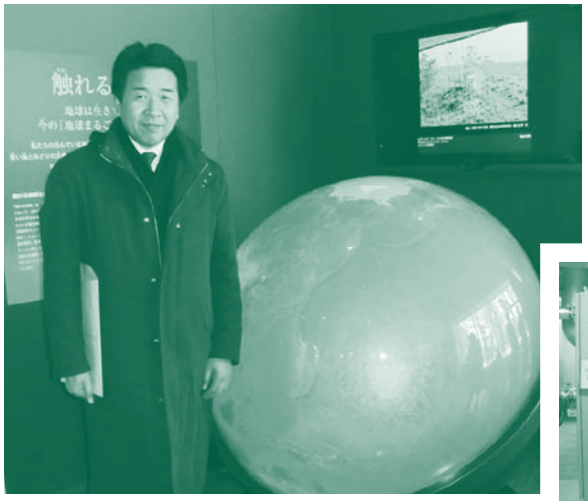
市民の生活を守るため除雪は重要なことですから、札幌市は「地域と創る冬みち事業」を立ち上げ町内会等とも協議をしながら進めています。さらに市民の皆様の意見を市政に届けます。

札幌市次世代エネルギーパーク

「太陽光などの新エネルギーを積極的に導入し、市民が新エネルギーを見て触れて理解できる施設」であり、札幌市は円山動物園に設置されています。

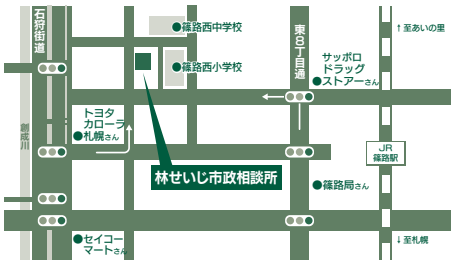
地球上にある「いのち」と「エネルギー」のかかわりをテーマに動物との触れ合いを楽しみながら、地球環境問題と次世代エネルギーを身近に体験できます。

木質ペレットボイラーはCO_2を増やさない熱発生装置です。


エネルギーを身近に感じられました

木質ペレットボイラー

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322